

ゼミ活動報告 「うめだ火曜会に参加しました」

横山 遼大朗

本日は「ビジネス交流研究会（通称：うめだ火曜会）」のお手伝いに参加しました。うめだ火曜会は宮川先生が主宰されている研究会で、関西圏にある上場企業の管理部門にお勤めのビジネスパーソンがお集まりになっています。もう5年も続いているという火曜会では、宮川先生による勉強会や参加者の方によるプレゼンテーションが行われます。白熱した議論が展開された後は毎回なごやかな懇親会も開かれます。



本日は参加者企業の方より「事業内容の変化とIR活動の課題」というテーマで報告が行われました。難しい内容でしたが、業績予想と実績値が乖離した場合どのように投資家と議論すべきか、また、計画精度を高める方法は何か、さらには今後の成長投資をどのように説明すべきか、という内容でした。プレゼンテーションされた方からの問題意識に対して、参加者の方々からレベルの高い

意見が次々に飛び出しました。実務をされている方はこんなにも勉強されているのか、と驚くばかりでした。

実際に企業の管理部門にお勤めしている方から、「投資家はWACCを高く見ているのではないか。」「DCFを使って計算していて…」など、私たちが実際にゼミで学んできたことが実務で使われている、ということにとっても驚いたと同時に、そのお話にかろうじてではありますが、ついていけていることがとても自信になりました。

勉強会の後は場所を移し、企業の方とお酒を飲みながら、学生時代の話、実務での苦労話、インターンで呼んだ学生のレベルが低すぎた話、ゼミのポロシャツの話など様々な話をお伺いすることができ、とても楽しかったです。特に、「学生時代に死ぬほど勉強した方がいいぞ。」という言葉が印象的でした。たいへん勉強になり、たくさんの刺激をいただきました。ありがとうございました。

